

## 「千葉市ドローン活用推進事業」の公募を開始します ～市内外から最先端の技術を呼び込み、本市のドローン産業振興を促進！～

千葉市では、ドローン活用の推進及びドローン産業の振興を図るため、市内外の企業を対象に活用業務の外部公募を行いますので、お知らせします。

### 1 趣旨・経緯

千葉市では、国家戦略特区としてドローン宅配の取り組みに加え、ドローンフィールドの開設、ちばドローン実証ワンストップセンターの設置など、様々な分野におけるドローン活用に向けた環境整備に取り組んできました。また昨年度からは、行政の効率化、ドローン関連産業の振興及び市民理解の促進を図るため、ドローン活用を条件とした業務発注を行っています。

今年度は、市内外の企業が保有する最先端の技術を本市業務に積極的に取り入れたく、活用業務の外部公募を行います。

### 2 公募概要（詳細は別紙1参照）

#### (1) 公募内容

市が発注可能な業務であり、行政の効率化（省力化・経費削減・安全性向上など）が見込める業務内容を提案してください。一定の審査基準のもと、優れた事案を採択します。

##### ① 課題提案部門

大規模雨水貯留施設点検調査業務（別紙2参照）

##### ② 自由提案部門

行政の効率化に資すると思われる業務（実用化レベル）を自由に企画提案可能

※①②双方の提案も可能とします。

※課題提案部門と自由提案部門を合わせて、3業務程度を採択予定。

※既に本市にて実施したことのある業務については、原則、採択しません。

※対象施設等については、採択後に所管部署等との協議により決定するため、公募時に具体的な施設まで選定する必要はありません。

#### (2) 業務期間

委託契約締結の日から、原則として令和2年2月末日まで

#### (3) 業務費

1業務につき1,000,000円以内（税込）

### 3 応募資格

公募に参加できる者は、国内の事業者とします（市外企業も応募可能。応募資格を有する複数の者の連名による申請も可能とします）。

また、業務実施後、市が主催するイベント・セミナー等でのデモ飛行・事例発表等による普及啓発に協力することを条件とします。

### 4 スケジュール

令和元年	8月	1日（木）	実施要領の配布開始 参加意向申出者の受付開始	
	8月	9日（金）	質問書の受付期限	
	8月21日（水）	（予定）	質問書の回答	
	8月23日（金）		参加意向申出書の受付期限	
	8月下旬	（予定）	現地視察（課題提案部門のみ）	
	9月	6日（金）	企画提案書の受付期限	
	10月	8日（火）	（予定）	プレゼンテーション審査
	10月中旬	（予定）	審査結果通知	
	10月下旬から	11月上旬	（予定）	契約締結

※契約締結は、対象施設の選定・仕様書の作成などの作業完了後とします。

## (参考) 昨年度実施した業務について

### 1. こてはし台調整池測量業務委託

#### <業務概要>

ドローンにて調整池の空撮、測量を行い、調整池の台帳を作成する。調整池台帳は、今後の維持管理や改修工事等の図面として活用する。

#### <得られた効果>

従来方法との比較で、作業効率が向上したことから、工期短縮に繋がった。

#### <その後の動き>

一定の効果が得られたことから、市管理水路においても、同様の測量を実施予定。

(令和元年度予算 320万円)



### 2. 急傾斜地崩壊防止施設変状把握調査業務委託

#### <業務概要>

ドローンにて急傾斜地崩壊防止施設の経年的変化の状況調査(空撮、変状箇所確認)を行い、管理台帳を作成する。管理台帳は、施設のひび割れや断面欠損に係る補修に必要な数量を算出する作業に活用する。

#### <得られた効果>

従来の手法である人による高所作業が不要であることから、危険を伴わずに、状況調査を実施することができた。

#### <その後の動き>

一定の効果が得られたことから、引き続き、市内の急傾斜地の調査を実施予定。

(令和元年度予算 70万円)



### 3. 動物脱出対応訓練に伴う UAV による動物搜索業務委託

#### <業務概要>

動物公園で従前より実施していた動物脱出に対応する訓練において、ドローンに通常カメラ及び赤外線カメラを搭載し上空から動物の探索を実施する。実施結果を基に活用方法を検討し、有事の際の動物探索に活用する。

#### <得られた効果>

動く被写体を赤外線カメラで捉え、詳細を望遠カメラで確認するといった運用が可能であることを確認できた。

#### <その後の動き>

実際の脱出時の適用について検討中。

(令和元年度予算 なし)

